

## 物理チャレンジ 2014 第2チャレンジ

## 化学グランプリ 2014 二次選考

### <物理チャレンジ 2014 第2チャレンジ>

期 間：平成26年8月19日(火)～22日(金) 試験会場：岡山県青少年教育センター

### <化学グランプリ 2014 二次選考>

期 間：平成26年8月22日(金)・23日(土) 試験会場：東北大学 仙台キャンパス

**3年生2名が岐阜県代表として二次選考や第2チャレンジに参加してきました！**



二次選考の会場にて

参加生徒の懇親会

大学の施設見学

- 化学グランプリは3000名以上が受験した一次選考を突破した80名が二次選考として、実験を主体とした問題に取り組みました。**岐阜県で一次選考を突破できたのは本校の生徒1名だけでした。**
- 物理チャレンジは第1チャレンジを突破した98名が理論問題と実験問題に取り組みました。**岐阜県で第1チャレンジを突破できたのは本校生徒1名を含む2名だけでした。**
- 結果は、**化学グランプリが『銅賞』、物理チャレンジが『奨励賞』**でした。
- 試験以外にも、交流会や施設見学などが行われ、開成、灘、筑波大附属駒場といった、日本の名門高校の生徒たちと交流するなど大変良い経験ができました。



引率教諭の実験研修会

色素増感太陽電池の作成

東北地区の教諭との情報交換会

- 生徒が受験している間に、引率教諭は日本化学会東北支部主催の実験研修会や東北地区の教諭との実践交流会に参加しました。大変レベルの高い実験や情報交流ができました。

## <生徒の感想>

### ○化学グランプリ参加者(3年 周戸大季)

僕は化学グランプリを通して、自分が関高校自然科学部化学班として活動をしてきて良かったと思いました。一次選考に通過できるなんて夢にも思っていなかったのですが、**日々の積み重ねが二次選考出場につながったのだと思うと嬉しかったです**。二次選考の実験では時間が足りなかったのが少し残念でしたが、**自ら考えて実験するという機会がなかなか無いので、楽しみながら取り組むことができました**。懇親会の自己紹介では、化学や物理、生物、哲学のオリンピックの代表者または候補者だった人や名だたる高校の人達ばかりでただただ驚くばかりでした。また、施設見学では核磁気共鳴装置(NMR)や質量分析装置(MS)など、分析時のスペクトルから分子構造・分子量等まで測定できるハイテク分析機器を見学することができました。**自分の好きな化学という分野において素晴らしい仲間とふれあえたことは、貴重な体験で非常に良い刺激になりました**。

僕は、今年初めて化学グランプリに挑戦しましたが、やはり多くの方は2、3回目で下積みがあるということが分かりました。だから、**1、2年生の人には自分が化学を履修していないからと言って諦めるのではなく、どんどん挑戦して行ってほしいと思います**。

最後に、毎日の化学の授業、引率でお世話になった吉井先生、自然科学部でお世話になった渡邊先生、昨年度までお世話になった傍島先生に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

### ○物理チャレンジ参加者(3年 坂本倫太郎)

参加するきっかけは締め切り最終日にクラスの友人が誘ってくれたのがきっかけでした。もともと物理は苦手だったのに挑んだ理由は、前年度「科学の甲子園」に出場したことが一つ、身の周りに理科に対して関心・造詣が深い人たちがいることが一つ、そして、参加費が無料だったことです。

二次チャレンジに参加して、率直に楽しかったです。いろいろなものが見られましたし、いろいろな人に出会うことができました。**参加者のレベルが高いので、とてもいい刺激になりました。日本の理科界の将来はこの人たちがいればなんとかなると思ってしまいました**。結果は残せませんでした、その分いろいろなことを学びました。名だたる私立勢がどれほどまでに強いことや、頭のいい人は個性的な人が多いことを発見しました。

それに、**理科は、考えることが面白いんだな、ということを確認するきっかけになりました。いつものテストのようにテクニックでなんとかするのではなく、しっかりと理屈から入って論理的に考えることこそ、醍醐味であるように感じました**。

果敢に挑戦して本当によかったと思います。そして、これからも多くのことに興味を持って、挑戦することを忘れずに、理科を楽しんでいきたいです。